

医療法人社団生和会 周南リハビリテーション病院

労働安全衛生委員会 8月活動報告

【8月に実施した活動】

① 腰痛予防 動画研修の実施

7月に作成した動画研修を各病棟とリハビリテーション部のPCへデータを保存し、対象職種で視聴を進めました。視聴後、アンケートを行い動画研修に関する意見を回収しましたので、結果を報告します。

【アンケート(4項目)】

質問項目	看護部(看護師/看護補助者)	リハビリ
満足度	98% (2名/137名 *未回答:1名)	100% (87名/87名)
わかりやすさ	100% (137名/137名 *未回答:1名)	100% (87名/87名)
理解度	100% (137名/137名 *未回答:1名)	100% (87名/87名)
今後への活用	98% (2名/136名 *未回答:2名)	100% (87名/87名)

【自由記載欄へ挙がった意見(*重複する意見は集約して表記)】

- ベッドの高さ調整などの環境調整はわかっているが、省いている。気を付けたい。
- 身体の使い方で介助負担が変わることがわかった。現場で活用したい。
- 全介助の患者様が多くいらっしゃるため、2名介助の方法も知れると良かった。

リハビリは一日のスケジュールが明確に決められており、スタッフが一人の患者様に一定時間集中して関わることができます。一方、看護師や看護補助者は、リハビリのように介入時間が固定されておらず、複数の患者様を同時に対応することが多いという業務特性があります。そのため、一人の患者様に十分な時間を割くことが難しく、結果として環境調整が省略されやすい傾向があると考えられます。

腰痛予防において環境調整は非常に重要なため、時間を取らずにベッドの高さ等の環境調整が行えないか対応策を検討していきます。

今回の動画研修だけでなく定期的に発信していき、職員の意識変容に努めていきます。

② 固定式電動介護リフトのデモ機導入に対するアンケート調査と他メーカーのリフトデモ機導入検討

現在、当院では固定式電動介護リフトのデモ機を2台お借りして、試用しています。今回のリフトの使用感をデモ機導入病棟の職員へアンケート調査を行う予定です。また、当院に適した形状・機能・特性の電動介護リフトを選定するために、他メーカーの固定式電動介護リフトのデモ機導入を労働安全衛生委員会にて検討し決定しました。福祉用具業者と連携して導入機器と時期を検討・調整していきます。

③ 電動介護リフト実技研修

電動介護リフトの使用方法をレクチャーできるスタッフの育成を目的に、リハビリスタッフに対し操作上の注意点やスリングシートの脱着方法、吊上げ方法等の実技研修を実施しました。実際にスタッフが吊上げられる体験も行うことで、患者様の視点に立って考えてもらえたと感じています。

今後も電動介護リフトの活用度向上を目指し、定期的な実技研修を行っていきます。

今後も労働安全衛生委員会として、職員の腰痛予防に努めていきます。